

番号	委員名	意見内容	対応区分	回答	対応部局
1	亀井委員	住宅の省エネ化について、建築住宅局と連携を図って進めて欲しい。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	御意見を踏まえ、本計画の策定及び施策実施にあたっては、庁内関係部局と連携を図りながら進めてまいります。	くらし環境部 (環境政策課、 住まいづくり課)
2	小野寺委員	SDGsは17のゴールがあるが、ベースは環境。そこから社会、経済へつながる。そういう意味で言うと、記載があいまい。もう少しつながりがあると思う。県の立ち位置や、東部・中部・西部の地域の特徴なども出せると良い。	1 御意見の趣旨を踏まえ、計画素案に反映	御意見を踏まえ、環境・経済・社会の関連性に関する記載を行いました。【素案P22 11行目～】	くらし・環境部 (環境政策課)
3	小野寺委員	県の立ち位置や、東部・中部・西部の地域の特徴なども出せると良い。	1 御意見の趣旨を踏まえ、計画素案に反映	御意見を踏まえ、各地域の特性を踏まえた施策展開を行う旨、記載しました。【素案P25 15行目】	くらし・環境部 (環境政策課)
4	小野寺委員	気候変動に関する災害については記載があるが、地震については記載されていない。災害県であることを考えると、地震と環境との関わりが重要だと思う。	1 御意見の趣旨を踏まえ、計画素案に反映	御意見を踏まえ、地震をはじめとする大規模災害に備えに関する記載を行いました。【素案P15 12行目】	くらし・環境部 (廃棄物リサイクル課) 経済産業部 (エネルギー政策課) 危機管理部
5	牧野委員	静岡県の総合計画としっかりと整合を図っていくことが重要。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	今年度策定の予定されている静岡県総合計画や他の個別計画とも整合を図りながら、本計画の策定作業を進めて参ります。	くらし・環境部 (環境政策課)
6	牧野委員	環境保全活動を実践している割合が8割で、全国的にも高い割合だと思うが、目標値が100%になっているため、評価を行うとC評価になる。この数字を肯定的に表現するためには、他県との比較や基準年をいつにするかが大事。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	御意見を踏まえ、今後、指標や目標値の選定の際に参考とさせていただきます。	くらし・環境部 (環境政策課)
7	牧野委員	一般の方からすると、言葉を理解できないとそれだけで難しい取組だと感じてしまう。これまでも語句の説明はしっかりとやっていたらと思うが、引き続きお願いしたい。	1 御意見の趣旨を踏まえ、計画素案に反映	御意見を踏まえ、一般的ではない語句については注釈を入れるほか、今後、巻末に用語解説を加えて参ります。	くらし・環境部 (環境政策課)
8	小野寺委員	最近の環境に関する言葉は横文字が多く、若者世代は良いかもしれないが、取り残される人も多く、課題の一つだと感じる。全世代に分かりやすく伝えることはすべてに共通する施策として重要である。	1 御意見の趣旨を踏まえ、計画素案に反映	御意見を踏まえ、「全てに共通する施策」の「今後の課題」に、幅広い世代への分かりやすい情報発信を記載しました。【素案P21 5行目～】	くらし・環境部 (環境政策課)

番号	委員名	意見内容	対応区分	回答	対応部局
9	亀井委員	地域循環共生圏の具体例の取組について、その後の進捗、展開などをどのように評価していくのかを検討していく必要がある。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	御意見を踏まえ、各市町や各実施主体と連携を図りながら、適宜、進捗状況の確認等を行って参ります。	くらし・環境部 (環境政策課)
10	藤川委員	国の環境基本計画と比較すると、ニュアンスが違うように感じる。特に、国では、幅広い関係者とのパートナーシップや、人づくりによる地域づくりとか相当出てきている。県の計画は堅い。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	御意見を踏まえ、わかりやすい言葉を使うなど、県民の皆さまにわかりやすい計画となるように努めて参ります。	くらし・環境部 (環境政策課)
11	小野寺委員	目指す将来像について、「先導する」についてはとても覚悟がいていると思う。特に環境のことは、SDGsをベースに考えると、社会・経済を総合的に引っ張っていくという意味がこめられている。崇高な将来像を掲げながら、これで大丈夫なのかと不安になる。人が付いてこないといけないし、連携しないとトランスフォームはできない。そのあたりを出さないと、先導はできない。	1 御意見の趣旨を踏まえ、計画素案に反映	御意見を踏まえ、「先導する」を「ふさわしい」に記載を改めました。 【素案P22 4行目】 加えて、多様な主体との連携に関する記載を行いました。【素案P22 27行目】	くらし・環境部 (環境政策課)
12	井上委員	地域循環共生圏について、分かりやすいようにしていただきたい。環境省では、人づくりや環境ビジネスについても地域循環共生圏の中で実施していくこととなっており、ローカルSDGsという言い方もされている。	1 御意見の趣旨を踏まえ、計画素案に反映	御意見を踏まえ、地域循環共生圏の具体例として、県内の事例を計画のコラムとして掲載しました。【素案P26、27】	くらし・環境部 (環境政策課)
13	小野寺委員	第3次よりも柱の数が増えていてわかりづらい。脱炭素社会も循環型社会も自然共生社会も全て環境と調和した社会の礎の形成の元に作られるものである。第3次では最初にその柱があったので、その部分が見えやすかった。単純に地域循環共生圏を目指すことにすれば、すべて包含されている。県がどこに力を入れてやっていくのか明確に分かるようにして欲しい。柱が増えた分、明確さがなくなっている。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	世界的な脱炭素社会への移行や、サーキュラーエコノミーなどの潮流、県民意識調査などの結果を踏まえた柱立てを行っております。御意見を踏まえ、今後重点的に実施する施策について明確となるよう、重点施策等を設定するなど、工夫した記載を検討してまいります。	くらし・環境部 (環境政策課)
14	牧野委員	非常によくできていると好意的に捉えました。ワードだけ取り上げていけば気になるところもありますが、「低炭素社会」から「脱炭素」という形で、静岡県環境に対する取組を前向き、かつ深化させるという方針が表れていて、非常に評価しております。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	県民・事業者・NPO・市町等の各主体とも連携し、脱炭素社会の実現に向け、各種施策を展開して参ります。	くらし・環境部 (環境政策課)

番号	委員名	意見内容	対応区分	回答	対応部局
15	牧野委員	脱炭素社会の構築の中で、再生可能エネルギーの利用促進が挙げられている。県では大規模太陽光発電では環境影響評価を行うが、小規模は範囲外だと聞いている。今回の計画で、より踏み込んだ環境保全を行っていくということであるならば、太陽光パネルに関する設置方法や廃棄方法についてもご検討いただきたい。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	<p>国は、平成29年3月に、再エネ発電事業者が、再エネ特措法に基づき事業計画を作成するに当たって遵守すべき事項やその考え方を記載した「事業計画策定ガイドライン」を策定しました。</p> <p>県は、平成30年12月に「太陽光発電設備の適正導入に向けたモデルガイドライン」を公表し、市町のガイドライン策定を支援するとともに、適正な導入を促進しています。</p> <p>また、県内の28市町が、再生可能エネルギーと環境との調和に係る条例又はガイドラインを策定し、大規模太陽光発電等の適正な導入を図っています。</p> <p>太陽光パネルの廃棄方法については、小規模の施設を含めて環境に影響を与えない廃棄方法を検討してまいります。</p>	くらし・環境部（生活環境課、廃棄物リサイクル課） 経済産業部（エネルギー政策課）
16	牧野委員	資源循環型社会の構築の中で、廃棄物適正処理の推進が挙げられている。現在はウィズコロナの時代で、マスクなどのプラスチックが増えている。先ほど、基準年の話をしたが、これからプラスチックが増えていく中で、ビフォアコロナの状態を基準年にしてしまうと、とてもではないが、うまく評価できないのではないか。県がしっかりと対策をしても評価されないということになる。別枠で評価基準を設けるか、廃棄物適正処理の「適正」についてどのように考えているか等について次回の部会でお話いただきたい。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	<p>新型コロナ感染拡大の前後における生活系、事業系のごみの排出状況の変化について、コロナ禍との因果関係や影響の数値化を調査中です。特にコロナ禍で衛生面や機能面が見直され使用量が増えたとみられるプラスチックについては、廃棄物の排出量全体に及ぼす影響の大きさを国の調査結果等を基に分析し、必要に応じて指標を補正する基準の設定を検討してまいります。</p>	くらし・環境部（廃棄物リサイクル課）
17	牧野委員	自然共生社会の構築の中で挙げられていないが、これまで県では外来種に関するパンフレット等をしっかりと作っている。その取組はこれからも継続されていくだろうし、その方針は正しい。今後、地球温暖化が進行したり、海外との取引が活発になれば、外来種が増加してくると思うので、この点は重要である。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	<p>御意見を踏まえ、外来種に対する県民意識の向上のため、引き続き情報発信に取り組んで参ります。</p>	くらし・環境部（自然保護課）
18	牧野委員	良好な生活環境の保全の中で、健全な水循環の確保が挙げられている。評価では下水道の管理が遅れていたと承知している。汚泥リサイクルに関してもあまり良い評価が出ていない。つまり下水道を沢山整備すると汚泥も沢山出て、汚泥処理に関する問題も大きくなる。この点について、県はどのように考えているか教えて欲しい。	2 御意見の趣旨を踏まえ、取り組む	<p>汚泥リサイクルについては、近年、発生する汚泥のうち、施設や設備のメンテナンスに伴い利用できていないものを除く、95～97%の高い割合で利用が図られているが、目標を全量（100%）としていたためにあまり良い評価とはなっておりません。</p> <p>他方で汚水処理施設については、令和元年度末に82.2%で全国平均91.7%を大きく下回っており、ご指摘のとおり下水道の整備が遅れていたことが一因に挙げられます。</p> <p>このため、下水道や合併処理浄化槽など、地域の実情にあった汚水処理施設の整備を推進するとともに、下水道で発生する汚泥の利用割合を現状より高められるよう努めていきます。</p>	交通基盤部（生活排水課）